

# Red Hat Enterprise Linux による IT 標準化の 4 つの主要な柱

複数のオペレーティングシステム (OS)、プラットフォーム、ツールが混在し、複雑になりがちな環境では、解決される問題よりも多くの問題が生じることがありますが、テクノロジーを標準化することでこれをシンプルにし、一貫性を獲得することができます。

IT の標準化は、すべての IT 環境ですべてのユーザーが同じ OS、アプリケーション、ツール、コマンド、プロセスを使用できるようにするなど、さまざまな方法で実行できます。1 つの OS (Red Hat® Enterprise Linux® など) で標準化することにより、運用効率とビジネスアジリティの向上、セキュリティへの注力の強化、社内スキルの構築といった多くの一般的な IT 課題を解決できます。

長年にわたり Red Hat Enterprise Linux 上にワークロードをデプロイしている組織は多いですが、一部の組織は他の OS や Linux ディストリビューション上にもワークロードを配置しており、その結果インフラストラクチャの複雑性と所有コストが増加しています。Red Hat Enterprise Linux で標準化すべき理由を以下に示します。

## 1 インフラストラクチャ管理を 効率化する

多くの場合、IT インフラストラクチャでは多種のサーバーハードウェア、多数の異なる OS、さまざまな管理ツールが混在しています。

このような複雑な IT 環境を、プロビジョニングの遅延、ダウンタイムの増加、セキュリティリスクとコンプライアンスリスクの増大といった運用上の混乱を生じさせることなく管理するには、高度なスキルを持つチームが必要です。

Red Hat Enterprise Linux で標準化すると、IT インフラストラクチャとその管理の複雑性が単純化され、次のことが可能になります。

- ▶ すべてのワークロード間の一貫性を確保することで、運用効率を最適化する
- ▶ 一貫したツールとリソースによってプロセスを効率化する
- ▶ 運用環境の可視性を高めることで、セキュリティとコンプライアンスへの注力を強化する
- ▶ 運用コスト (OpEx) を削減し、アップタイムを増やし、プロビジョニングとデプロイを迅速化し、IT 部門とユーザーの生産性を向上させる

## 2 適切なレベルの柔軟性を見 つける

柔軟性とアジリティを高めて標準化レベルをサポートすることは不可欠であり、適切な OS を選択すればその実現に近づくことができます。

Red Hat Enterprise Linux を使用すると、クラウド環境、オンプレミス、コンテナ、またはネットワークエッジで、スピード、一貫性、可搬性を維持しながら、現在および将来のワークロードを構築、デプロイ、管理できます。

この柔軟なプラットフォームによって次のことが可能になり、イノベーションと成長がサポートされます。

- ▶ 開発と管理を一元化して、イノベーションにより多くの時間をかける
- ▶ 可搬性に優れたアプリケーションとコンテナによって、ビジネスニーズに柔軟に対応する
- ▶ 既存のアプリケーションを維持しながら、一貫した基盤で新しいテクノロジーを開発しデプロイする
- ▶ アプリケーションの安定性と下位互換性によってワークロード移行を単純化、またはその必要性を軽減する
- ▶ Red Hat の広範なパートナーエコシステムにアクセスして、連携するパートナーを柔軟に選択する
- ▶ 標準構成と組み込みの自動化機能により、開発からプロダクションまでのパスを効率化する

### 3 階層化されたセキュリティ戦略の基盤を構築する

効率的なリスク管理、データの保護、ユーザー認証とアクセスポリシーの提供、データの暗号化、正しいシステム構成の維持、管理されたデプロイ全体でのコンプライアンス義務の強化には、階層化されたセキュリティ戦略が必要です。

これを単独で実現できるソリューションはありませんが、適切な OS を使用すれば、システムセキュリティへの注力を強化し、他のソリューションと統合して、インフラストラクチャ全体に階層化されたセキュリティ戦略を実装するための基盤を確立できます。

Red Hat Enterprise Linux と Red Hat Insights (Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションに含まれるサービス) は、次の機能によってこれに対応します。

- ▶ 組み込みのセキュリティ機能 (自動化されたセキュリティ制御など) とセキュリティプロファイル
- ▶ プロアクティブな分析、脆弱性アラート、ターゲットを絞ったガイダンス、修復プレイブック
- ▶ 重要なセキュリティ・アップグレードとライブパッチ。多くの場合、重大な脆弱性が公開されてから 24 時間以内に提供
- ▶ ほとんどの政府および業界の規制に対するセキュリティ標準認証
- ▶ Red Hat が提供するすべてのコンポーネントを検証する、セキュリティ重視のソフトウェアサプライチェーン

### 4 一貫したツールでスキルギャップに対処する

OS としての Linux の人気の高まりとハイブリッドクラウド使用の急増により、多くの組織にスキルギャップが生じ、ハイブリッド環境やマルチクラウド環境を効果的に管理する能力が制限されています。

Red Hat Enterprise Linux で標準化すると組織内のスキルギャップを軽減できます。数十年にわたる Red Hat の経験に基づいて構築される、一貫したツールを使用してプロセスを効率化することができます。これによって、こうしたプロセスの管理に必要な人員とリソースを削減し、ハイブリッドクラウド全体でスキル、基準、プロセス、ベストプラクティス、管理ツールを維持できるようになります。

Red Hat Enterprise Linux は次のような機能によって、組織内のスキルギャップの解消にも役立ちます。

- ▶ Red Hat Knowledge Base を通じてアクセスできるリソースの共有ライブラリ: 複雑な問題を解決できるようチームを導きます
- ▶ すべての Red Hat Enterprise Linux ホストに含まれる Web コンソール: この Web ベースの管理インターフェースの機能にはサービス、セキュリティ、ストレージ、ユーザー管理が含まれます
- ▶ Insights へのアクセス: Insights は Linux に関する Red Hat の豊富な経験と専門知識を活用し、チームの管理作業をサポートするプロアクティブな分析ツールと修復ツールを提供します

#### さらに詳しく

柔軟性と一貫性に優れたハイブリッドクラウド向けの運用基盤である Red Hat Enterprise Linux について、[詳細をご覧ください](#)。

#### 動画を見る

Red Hat Enterprise Linux でエンタープライズ・テクノロジーを標準化するメリットについて、[詳しく説明](#)します。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

**インドネシア**  
001 803 440 224

**マレーシア**  
1800 812 678

**中国**  
800 810 2100

**オーストラリア**  
1800 733 428

**日本**  
03 4590 7472

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**香港**  
800 901 222

**インド**  
+91 22 3987 8888

**韓国**  
080 708 0880

**シンガポール**  
800 448 1430

**台湾**  
0800 666 052

**f** fb.com/RedHatJapan  
**t** twitter.com/RedHatJapan  
**in** linkedin.com/company/red-hat